

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	015007	事務事業名	土地区画整理管理事業			
担当部・課名	都市整備部 区画整理課	評価者 (課長)	野満 寛	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600402	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	4快適な居住環境の整備			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)土地区画整理事業の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	管理市有地等	事業の目的 (意図)	管理市有地等の適切な整備及び管理を実施し、良好な住環境の保全を図る。
事業の内容 (手段)	区画整理事業が完了した地区内の管理市有地等について、適切な整備・管理を実施する。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	細事業実施率	実施件数/実施予定権数	%	目標値	2.0	1.0	1.0
実績値				2.0	1.0		
達成度(%)				100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	15,256	184	184	184
うち一財		千円	15,256	184	184	184	184
(決算額)	直接事業費	千円	11,055	156		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	11,055	156			
	正職員人件費	千円	6,656	741			
	人工数	人	0.90	0.10	0.05		
	支出コスト	千円	決) 17,711	決) 897			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H24年度以降は、熊毛地区のマノホールポンプの清掃業務委託を実施。 H25～H26年度については、富田中央土地区画整理事業の未完了建物の移転と道路整備を実施。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 現在継続的な実施事業は熊毛地区の案件のみであるが、市内の施行完了地区には管理市有地が存在している。今後現状をより把握し、必要に応じて所管換等を検討していく必要がある。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	熊毛地区の案件については今後も毎年度一回の定期清掃を確実に実施。 その他管理地については、必要に応じて然るべき整備等を検討する。	評価責任者コメント	管理市有地を適切に管理し、市民への安心安全を図る。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
実施内容 H28年度 熊毛地区のマノホールポンプ清掃業務 業務完了日:H28.5.9 H29年度についても、予算内で引続き適切に執行する。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	土地区画整理管理事業	毎年度の管理業務を確実に実施する。	熊毛地区のマノホールポンプの清掃業務を実施。	156 可		0.10	0.00
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	015008	事務事業名	久米中央土地区画整理事業一般事務事業			
担当部・課名	都市整備部 区画整理課	評価者 (課長)	野満 寛	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600402	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	4快適な居住環境の整備			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)土地区画整理事業の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	区画道路や調整池等の公共施設と周辺宅地	事業の目的 (意図)	一体的整備を図り、公共施設の充足や無秩序な市街化を抑制し、健全で良好な市街地を造成する。
事業の内容 (手段)	久米中央土地区画整理事業における審議会、評価委員会を開催し、区画整理法上の諸手続きを進める。 道路照明、排水施設の清掃点検、保険料等施行中の公共施設の維持管理を実施する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	事業進捗率	事業進捗率	執行済額／総事業費	%	目標値	95.7	98.4
実績値					93.1	95.3	
達成度(%)					97.3%	97.5%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	3,856	3,824	2,763	2,592
うち一財		千円	3,856	3,824	2,763	2,592	2,763
(決算額)	直接事業費	千円	2,542	2,050		対28年度増減理由 事業進捗による保全管理施設の減少	対29年度増減理由 事業進捗による保全管理施設の減少
	うち一財	千円	2,542	2,050			
	正職員人件費	千円	9,614	7,775			
	人工数	人	1.30	1.05	0.40		
	支出コスト	千円	決) 12,156	決) 9,825			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成9年度の事業決定から実施しており、数度の計画変更を行い事業を継続実施している。合併特例債の導入により大幅に事業進捗が図られた。平成27年度末に事業計画変更(第6回)を実施し、施行期間、総事業費等を変更。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 事業の進捗に伴い市管理地は減少している、公共施設については、供用開始しており事業完了まで継続的な保全管理が必要で、仮設公共施設の廃止等を行い、保全管理費用の削減を進める必要がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	審議会、評価委員会は区画整理法上設置が義務付けられており、仮換地の変更や換地計画の審議等事業を進める上で実施が必要不可欠な組織である。 施行中の公共施設については、事業が完了し各所管に移管するまでは定期的な保全管理に努める必要がある。	評価責任者コメント	審議会等の開催及び士官理知の保全にかかる経費削減のため、事業の早期完成に向け重点的に取り組む。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
工事等、効率的な施工に努め、仮設施設等の維持管理費削減となった。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	久米中央土地区画整理一般事務	審議会、評価委員会を開催し、区画整理法上の諸手続き等を行う。 地区内管理地や整備済み公共施設の管理保全を行う。	H28.3審議会を開催。大街区化に伴う換地変更について審議。 H27.11評価委員会を開催。単独保留地の予定価額を審議 整備済み管渠側溝等の清掃を実施。	3,824 否		1.05	0.00
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	332008	事務事業名	土地区画整理清算事業			
担当部・課名	都市整備部 区画整理課	評価者 (課長)	野満 寛	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600402	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	4快適な居住環境の整備			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)土地区画整理事業の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	新地・熊毛中央地区の徴収清算金	事業の目的 (意図)	分割納付の徴収清算金を完納させる。
事業の内容 (手段)	分割納付となっている新地・熊毛中央地区の徴収清算金について、完納させる事業。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	147,303.0	147,303.0
	清算金納付	納付済徴収清算金／徴収清算金総額	%	実績値	136,624.0	145,561.0	
				達成度(%)	92.8%	98.8%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	8	8	8	8
うち一財		千円	6	6	8	8	8
(決算額)	直接事業費	千円	8	8		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	7	8			
	正職員人件費	千円	2,219	2,592			
	人工数	人	0.30	0.35	0.40		
	支出コスト	千円	決) 2,227	決) 2,600			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	新地についてはH16年度より、熊毛中央地区についてはH21年度より清算業務を開始。一括納付が困難な者については分割納付を認め、以降徴収業務を継続している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 完納までの期間が長期に渡るため、事務内容の引き継ぎを徹底させる必要がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	少しずつではあるが、定期的な納付により残額は減少している。今後も納付が途切れる事の無いよう徴収業務を継続する。	評価責任者コメント	清算事業の早期完了に向けさらなる徴収率の向上を図る。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
適宜必要な納付依頼を実施し、今後も継続的な徴収事務を実施する。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	土地区画整理清算事業	清算金納付義務者の分割納付を完納させ事業の完了を図る。	分割納付及び滞納清算金について定期的な徴収業務を実施。	8 否		0.35	0.00
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	332010	事務事業名	久米中央土地区画整理事業			
担当部・課名	都市整備部 区画整理課	評価者 (課長)	野満 寛	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600402	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	4快適な居住環境の整備			補助・単独の別	補助
	推進施策	(2)土地区画整理事業の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	区画道路や調整池等の公共施設と周辺宅地	事業の目的 (意図)	一体的整備を図り、公共施設の充足や無秩序な市街化を抑制し、健全で良好な市街地を造成する。
事業の内容 (手段)	都市計画道路及び区画道路:計画延長6,561.7m、通路:計画延長522.5m、公園:3箇所 8,161.6㎡、宅地整地:187,152.18㎡、保留地:6,020㎡ 事業施行期間 平成9年4月15日～平成37年3月31日(清算期間5年含む)		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	事業進捗率	執行済額/総事業費		%	目標値	95.7	98.4
実績値					93.1	95.3	
達成度(%)					97.3%	97.5%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	1,701,000	896,247	412,525	285,544
うち一財		千円	118,600	64,747	50,825	65,044	28,800
(決算額)	直接事業費	千円	922,447	524,426		対28年度増減理由 事業進捗による要整備箇所の減少	対29年度増減理由 事業進捗による要整備箇所の減少
	うち一財	千円	74,297	54,626			
	正職員人件費	千円	86,891	88,490			
	人工数	人	11.75	11.95	8.35		
	支出コスト	千円	決) 1,009,338	決) 612,916			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成9年度の事業決定から実施しており、数度の計画変更を行い事業を継続実施している。合併特例債の導入により大幅に事業進捗が図られた。平成27年度末に事業計画変更(第6回)を実施し、施行期間、総事業費等を変更。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 滞りの無い施工を進める為に、建物移転や各種工事間のスケジュール調整を密にする必要がある。 現時点においても事業について、合意形成が十分に図られていない箇所が存在しており、施行スケジュールに遅延が生じている。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	H31年度の事業完了に向けて計画的に事業を進める。	評価責任者コメント	早期完了に向け地元との合意形成を積極的に進めていく。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
効率の良い工事工程管理や工法の精査により、仮設工事費や本工事費を抑制。また早期の土地引渡を行い、土地に対する補償費を抑制した。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	久米中央土地区画整理事業	区画道路や調整池等の公共施設と周辺宅地との一体整備を図り、健全で良好な市街地を造成する。(目標値:98.4%)	街路築造 約510m、宅地造成 約48,200㎡、調整池2箇所外建物移転 8戸14棟	524,426	否	11.95	0.00
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192083	事務事業名	中溝線整備事業費			
担当部・課名	都市整備部 区画整理課	評価者 (課長)	野満 寛	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	都市計画道路中溝線	事業の目的 (意図)	富田西部第一土地区画整理事業区域界から国道2号までの区間において、歩行空間を確保した道路を整備することにより、歩行者の安心かつ安全な空間を形成しつつ、本市の臨海部から国道2号以北の市街地までの道路ネットワークを形成し、交通の円滑化を図る。
事業の内容 (手段)	●施行場所:大字富田地内 ●施工内容:道路の新設 L=320m W=16m		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	業務委託・用地取得筆数	達成項目/目標項目		%	目標値	0.0	3.0
実績値					0.0	3.0	
達成度(%)					0.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	0	2,204	20,000	201,000
うち一財		千円	0	2,204	900	10,000	9,000
(決算額)	直接事業費	千円	0	1,490		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	0	1,490			
	正職員人件費	千円	0	3,703		事業用地の詳細設計実施の為。	用地買収・移転補償等に着手する為。
	人工数	人	0.00	0.50	1.25		
	支出コスト	千円	決) 0	決) 5,193			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成28年度からの事業化に向け、事業認可取得に必要となる関係機関との協議を行っている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 道路管理者(国土交通省)や交通管理者(公安委員会)と交差点に関する協議や、地権者や関係住民との合意形成を図る必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	平成28年度に事業認可を取得し、詳細設計や現地測量を行い、用地取得や建物補償等を行いながら、工事実施へと進めていく。	評価責任者コメント	当該路線の整備は、富田地区における重要路線であるため、着実に事業を進めていく必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
建物調査や土地鑑定評価を計画的に実施する。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	中溝線整備事業	事業認可の取得 【目標値:業務委託 3件】	交差点協議資料を作成した。 【業務委託件数:3件】	1,490		0.50	
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	15009	事務事業名	富田西部第一土地区画整理一般事務費			
担当部・課名	都市整備部区画整理課新南陽分室	評価者(課長)	伊ヶ崎 大志	評価責任者(部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600402	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	4快適な居住環境の整備			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)土地区画整理事業の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	中央通り線等の都市計画道路及び区画道路や公園等の公共施設	事業の目的(意図)	健全で災害に強い街づくりに有効であり、家屋の新築や交通の利便性などにより経済的な波及効果も期待できる
事業の内容(手段)	富田西部第一土地区画整理事業にかかる審議会、評価委員会の開催及び地区内施設の維持管理を行う		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	事業進捗率	事業進捗率	執行済額/総事業費	%	目標値	93.8	96.5
実績値					91.0	95.7	
達成度(%)					97.0%	99.2%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	2,464	2,464	2,088	1,649
うち一財		千円	2,464	2,464	2,088	1,649	2,088
(決算額)	直接事業費	千円	1,842	1,381		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	1,842	1,381			
	正職員人件費	千円	2,958	2,962			
	人工数	人	0.40	0.40	0.40		
	支出コスト	千円	決) 4,800	決) 4,343			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	事業開始が、平成5年度で長期間の事業である事業も地権者に浸透してきたが、未だに事業について理解いただけない方がいる	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 事業の進捗の遅れから地権者に土地が引き渡せず市の管理地の維持管理費が必要となっている
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	審議会、評価委員会は土地区画整地法のとおり実施しなければならない 難航地権者と積極的に交渉を継続するとともに、その他の手法についても検討していく	評価責任者コメント	審議会等の開催及び士官理知の保全にかかる経費削減のため、事業の早期完成に向け重点的に取り組む。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
事業の進捗により管理地面積減等による事業内容の見直しを図り当初予算が減額となった。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	富田西部第一土地区画整理事業一般事務	審議会、評価委員会を開催し、区画整地法上の諸手続き等を行う 地区内施設の維持管理	審議会:H27.5.28開催、仮換地変更、保留地売却処分の同意を得る 地区内施設の維持管理	1,381 否		0.40	0.00
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	332025	事務事業名	富田西部第一土地区画整理事業費			
担当部・課名	都市整備部区画整理課新南陽分室	評価者 (課長)	伊ヶ崎 大志	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600402	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	4快適な居住環境の整備			補助・単独の別	補助
	推進施策	(2)土地区画整理事業の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	中央通り線等の都市計画道路及び区画道路や公園等の公共施設	事業の目的 (意図)	健全で災害に強い街づくりに有効であり、家屋の新築や交通の利便性などにより経済的な波及効果も期待できる
事業の内容 (手段)	都市計画道路及び区画道路;施工延長6,324m、幅員6~28m、通路;施工延長557m、幅員2~4m、公園;整備面積7,060㎡、水路;施工延長334m、宅地;造成面積157,193㎡、保留地;1,500㎡、事業期間;平成5年度~平成36年度(清算期間5年を含む)		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	事業進捗率	執行済額/総事業費	%	目標値	93.8	96.5	97.7
実績値				91.0	95.7		
達成度(%)				97.0%	99.2%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	575,000	555,046	164,626	186,027
うち一財		千円	66,000	47,546	46,676	52,627	66,217
(決算額)	直接事業費	千円	509,014	466,107		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	60,222	33,635		事業進捗による要整備箇所増加	事業進捗による要整備箇所増加
	正職員人件費	千円	36,236	45,541			
	人工数	人	4.90	6.15	5.15		
	支出コスト	千円	決) 545,250	決) 511,648			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	事業開始が、平成5年度で長期間の事業である事業も地権者に浸透してきたが、未だに事業について理解いただけない方がいる	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 現時点においても事業についてご理解いただけない方がおり事業の進捗が遅れている
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	難航地権者と積極的に交渉を継続するとともに、その他の手法についても検討していく	評価責任者コメント	早期完了に向け地元との合意形成を積極的に進めていく。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
事業の効率的な運営を図るため事務経費等の削減等に努めた。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	富田西部第一土地区画整理事業	公共施設と周辺宅地の一体整備を図り、健全で良好な市街地を整備する	都市計画道路及び区画道路:施工延長460m、宅地造成:12,600㎡を実施建物補償:5戸	466,107		6.15	0.00
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	333002	事務事業名	新南陽駅周辺地区都市再生整備計画事業			
担当部・課名	都市整備部区画整理課新南陽分室	評価者 (課長)	伊ヶ崎 大志	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600402	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	4快適な居住環境の整備			補助・単独の別	補助
	推進施策	(2)土地区画整理事業の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	宮の前線	事業の目的 (意図)	高質空間整備し、地域拠点都市としてふさわしい景観を形成する
事業の内容 (手段)	宮の前線;施工延長260m、幅員21m、面積5,460㎡、事業期間;平成26年度		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
富田西部第一地区土地区画 整理事業の進捗率	全体事業費における年度末の 事業費の実績累計の割合	%			93.8	96.5	97.7
					91.0	95.7	
					97.0%	99.2%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	80,000			
うち一財		千円	4,100				
(決算額)	直接事業費	千円	80,000			対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	4,500			事業完了による	
	正職員人件費	千円	4,437	0			
	人工数	人	0.60				
	支出コスト	千円	決) 84,437	決) 0			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの 推移	新南陽駅周辺地区都市再生整備計画の関連事業として平成26年度の事業として行った		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 整備された宮の前線の高質空間を、地元と協同で適切な維持管理を行い地域活力の向上を図る
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の 方向性	適切な維持管理を行い地域の活性化を図る		評価責任者 コメント	宮の前線の整備により、快適な道路空間が創造された。今後は、この高質空間を適切に守っていく体制が重要である。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①							
②							
③							
④							
⑤							